

## 第12回「公認会計士の日」大賞受賞者について

### 賞の概要

日本公認会計士協会では、7月6日を「公認会計士の日」と定めており、これにちなみ、2009年（平成21年）に「公認会計士の日」大賞を表彰制度として創設しました。

本賞は、①会計、監査等に対する社会的関心の向上に貢献した者、②公認会計士制度の普及に貢献した者、③公認会計士の社会的地位及び知名度の向上に貢献した者に対し、その功績が顕著な者を表彰する制度です。

第12回「公認会計士の日」大賞の選定に当たっては、公認会計士としての視点のみならず、広い視野に基づく多面的な選定を行うため、外部有識者を加えた選定委員会において行いました。

### 第12回受賞者

#### ◆ 大 賞（1名）

おおつか むねはる  
大塚 宗春 氏（早稲田大学商学大学院名誉教授、元会計検査院長、本会外部監事）

#### 【選定理由】

大塚宗春氏は、1973年から長きにわたり、早稲田大学で会計学を専門に教鞭を執るとともに、教育者として、多数の優秀な人材を輩出し後進の育成に努められる等、公認会計士業界の発展に大いに貢献されました。また、大蔵省及び金融庁企業会計審議会の委員等として、金融商品会計基準の適用やその後の監査基準等の一層の充実、さらに、公職では、2002年に会計検査院検査官に就任後、2006年から2年間会計検査院長を務められ、我が国の会計検査行政の推進のために尽力されました。

そして、本会の外部役員在任中には、公認会計士業界が抱える様々な課題や問題に対し、信頼性確保に向けて講ずるべき必要な取組みや、ここ数年間のコロナ禍における会務の方向性及び使命について外部の視点から将来的な在り方を提言する等、本会の発展に貢献されました。

#### ◆ 特 別 賞（1名）

こがさか あつし  
小賀坂 敦 氏（故人／企業会計基準委員会前委員長、公認会計士）

#### 【選定理由】

小賀坂敦氏は、監査法人勤務を経て、企業会計基準委員会（ASBJ）創設と同時に専門研

究員に就任され、ASBJの会計基準第1号となる自己株式等に関する会計基準の草案の作成に当たりプロジェクトリーダーを務める等、長期間にわたるプロジェクトとして、リース会計基準の完成に尽力されました。

その後もASBJでは、主席研究員、副委員長、委員長を歴任し、我が国における会計基準の開発及び整備、国際会計基準審議会(IASB)に対して建設的な意見発信の中核を担う等、国内基準の開発のみならず国際的な秩序形成及びその他の基準の開発の発展に貢献されました。

また、近年では、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う企業や監査人等の対応のため、限られた期間の中で関係各所との調整に主体的に関与し適切な見識を示す等、公認会計士の社会的地位及び知名度の向上に尽力されました。

### 選定委員会委員

「公認会計士の日」大賞選定委員会委員（敬称略）

- 委員長：林 田 英 治（公益財団法人財務会計基準機構 理事長）
- 委員：佐 藤 淑 子（一般社団法人日本IR協議会 専務理事・首席研究員）
- 委員：堀 江 正 之（日本大学商学部・日本大学大学院商学研究科 教授）
- 委員：加 藤 達 也（日本公認会計士協会 副会長）
- 委員：新 井 達 哉（日本公認会計士協会 広報担当常務理事）

以 上